

## 希望の花籠

あなたの願いを飾つてみたい



2004 福岡県シニア美術展工芸の部で最優秀賞（福岡県知事賞）を2年連続受賞した井上数夫さん（生力）の作品。手前が昨年受賞した「希望の花籠」。奥が一昨年受賞し全国展で銀賞を受賞した「花壺」。

2005年が皆さんにとって希望に満ちた一年でありますように…（井上さん宅の庭で撮影、詳細記事は4～5ページに掲載しています）。

# 年頭の ごあいさつ

2005



赤池町長職務代理者  
赤池町助役 今田一成



赤池町議会議長  
片岡文雄

新年明けましておめでとうございます。明るい希望に満ちた新春をご家族おそろいでお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年の我が国の世相を表す漢字一文字に「災」が選ばれ、清水寺貫主により特大の色紙に揮ごうされました。観測史上最多の10個が上陸した台風、新潟県の中越地震、イラクでの人質殺害など多くの天災、人災が生じました。

一方、景気経済の落ち込み、増大する財政赤字、悪化している雇用関係、過疎化、少子高齢化の進行、三位一体の改革と呼ばれる財政システムの改革など、大変厳しいものであります。

また、赤池町では二〇〇二年に財政再建団体から脱却し、第二次赤池町総合計画に準じて、総合保健施設「コスマス」の建設に着工いたしました。しかし、工事発注に関し、大きな問題を残すことになりました。町民の皆様には心からお詫び申し上げますとともに、「一度と再び」ということのないよう「克己復礼」を旨として、粉骨碎身、町行政に徹してまいります。

また、赤池町・金田町・方城町の三町合併については、合併関連議案が各町議会で可決され、12月1日には麻生福岡県知事に三町の合併申請書を提出し、受理されたところです。

合併までにはまだ厳しい過程が予想されますが、小異を大事にした地域重視型の分権分散型の「福智町」（平成18年3月6日）に向け、肅々と取り組んでまいります。

いずれにしても十七年度は「災い転じて福となす」ために、職員の資質、能力の向上を図ることはもとより「刻苦勵」に努め、行財政運営の効率化を図るために、歳出の抑制と共に、税収の確保、受益者負担の適正化等、財源の確保に努めることにより、財政の健全化を進めながら、経済の動向に即応した機動的、弾力的な運営に配慮しつつ、節度ある町政運営に努めてまいりますことをお約束して、年頭のあいさつをいたします。

## 謹賀新年 赤池町議会

順不同 敬称略

副議長	池田 兼善	田中 久夫	久富 信義
木村 幸治	今野 正一	大島 勇夫	
立花 義廣	小松 照文	小松 春義	
白石二三市	木村 正史	安永 篁一	
皆川 高司	奥野サカエ	日高 進	



いろんなことに  
気がついたんだ

## 福智山を ながめながら



### ふだんはあまり気づかないけど

「わがまちの福智山を歩きながらながめよう！」。第2回人権ふれあいウォーキング大会のサブテーマです。町内6つのコースではそれぞれ福智山の眺望スポットが紹介されました。

市場コースは「きんねん様から」、中尾コースは「小峠から」、赤池コースは「町民会館前県道から」、大浦コースは「大浦池に映った姿を」、大谷コースは「常福池に映った姿を」、堀田コースは「堀田橋から」それぞれ福智山をながめようという設定です。町のシンボルであ

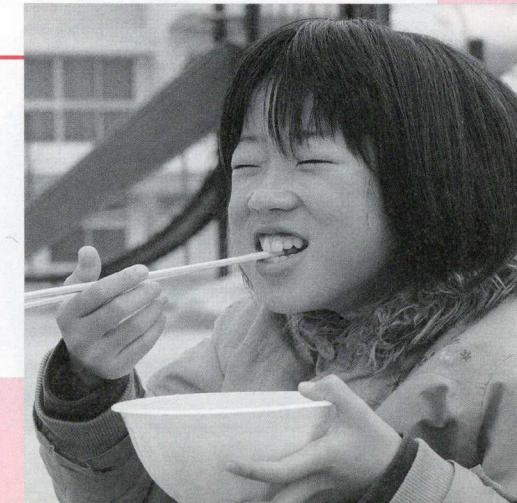
るこの山を日ごろ意識しない位置から、また見たことのない角度からながめて、町を見つめ直しました。

中継点では記念のしおりが一人ひとりに渡されます。表は現在のキロ数と中継点の写真、うらは小中学生が書いた標語。参加者は子どもたちの言葉を受けとめながら歩きました。普段ゆっくり歩くことがない道では色々な事に気が付きます。道端に咲いた花がきれいだったり、空き缶が落ちていたり、古い石碑に深い意味が込められていたり… 環境の変化や季節の移ろいを感じたウォーキング大会でした。



12月12日、この日の天候はくもり。残念ながら、かすみがかかっていました。福智山は白くかすんで、うっすらと姿がみえる程度。しかし、この姿もまた風情がありました。とにかく、雨じゃなくてよかったです。

## 温まってうれしい しし鍋に舌鼓



この日、参加者とスタッフに6百食分のしし鍋が振舞われました。しし肉は田川獣友会赤池支部の提供です。おにぎり5百個分の30kgを提供していただきました。動いた後の食事は本当に美味しかったです。



# まちをみつめ、心かよわせ

## 第2回 人権ふれあいウォーキング大会

12月4日から13日までの赤池町人権旬間。その9日間中のメインイベントとして、12日に第2回人権ふれあいウォーキング大会が開催されました。まちをみつめながら、ふれあい、心をかよわせた貴重な1日。その様子をお知らせします。



わたしがいて  
みんながいて

## おなじ道を歩いて



歩く前のストレッチは、ワイ・ワイ・ワ広場とふれあい交流会館の2会場で、赤池町健康運動普及推進員連絡協議会「さくらキララ」のみなさんに指導していただきました。

### それぞれのふるさと再発見

人権ふれあいウォーキング大会は6コース。大浦・大谷・堀田・市場・中尾・赤池の各コースがあり、それぞれの距離はおよそ4km。86チーム、472人が参加しました。チーム構成は地域や職場、家族、友人などさまざま。1チーム4人から6人のメンバーで、希望のコースを選択して歩きました。

前回は地元のコースを歩いたから、今回は違うコースを選びました」というみなさんや「こんなにゆっくり自分の住んでいる地域を見つめたのは初めて」という声も聞かれました。同じ道を歩くことで、出会いとふれあいが生まれたウォーキング大会。ゴールした人が汗をふきながら「ふるさとを再発見できました」と笑顔で語ったのが印象的でした。



特集／2004 赤池町人権句間

「人権」ってひとことで言う  
と難しいです。「人権について  
考えましょう」と呼びかけて  
もやはり漠然としています。  
ふれあいウォークイング大会の目  
的は、文字どおり「互いの心に  
ふれあう」こと。自分の存在、  
家族の存在、周りの人の存在、  
それらを見つめる「きつかけづ  
くりの場」になつたのではない  
でしょうか。この日のできごと  
が一人ひとりの心に刻まれ、い  
つの日か大きな実を結ぶことを  
願っています。

ず風も弱く、とても歩きやすい  
天候でした。次に、前回より参  
加者が増えたこと。403人か  
ら473人に増え、みんなが歩  
いた距離を合計すると1980  
kmにもなります。これは、およ  
そ赤池から北海道函館市に相当  
する距離、すごいですね。そし  
て、事故がなかつたこと。今回  
は歩きやすいように、チームご  
とに出発の間隔を20秒ほど空け  
ました。最後に一番大切な今回  
の目的である、人と人とのふれ  
あいができたこと。忙しい時間  
を割いて参加してくれたみなさ  
ん、おかげで支えたスタッフ、あ  
らゆる人があらゆる場面でふれ  
あい、そこには笑顔と温もりが  
ありました。

第2回人権ふれあいウォー  
キング大会は昨年に引き続き  
盛会に終わりました。その理由  
は4つ。まず、天気に恵まれた  
こと。曇り空でしたが雨も降ら  
ず。

あのカドをまがつて  
のぼり坂で。  
パパとママが  
ぼくの手を  
ひいてくれた。  
ゴールしても  
このままでいてね。



Human  
Rights  
Walking

# 472人が歩いた 1,980キロ

およそ赤池から函館までの距離を踏破！

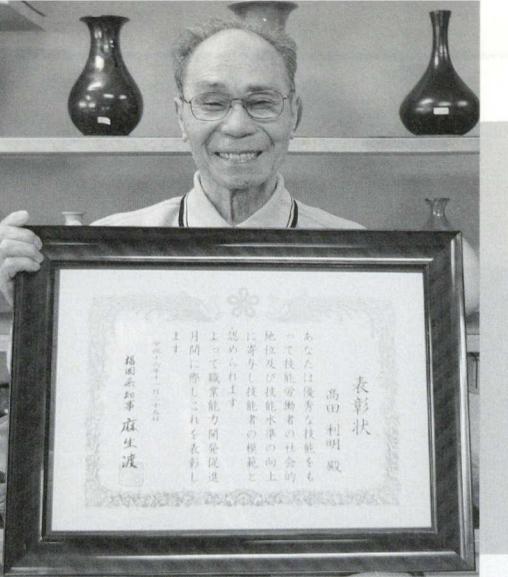


# 功績を讃えて

各分野での地道な努力と活動が評価された表彰です。

### ● 福岡県優秀技能者知事表彰

織細な虫喰釉で世界的に知られる高田湖山さん（高田窯）。故宮博物院賞をはじめ数々の賞を受け、上野焼伝統工芸士会会長として上野焼の発展と向上に尽力してきました。昨年5月にカンヌ国際芸術祭コートダジュール国際芸術賞を受賞するなど、グローバルに活躍。11月25日に優秀技能者の知事表彰を受けられました。



### ● 田川郡子ども会活動功労者表彰

伊丹利行さん・八区竹の子子ども会  
赤池町子ども会育成連絡協議会常任理事の  
伊丹利行さん（伏原）と八区竹の子子ども会  
のみなさんが田川郡子ども会育成連絡協議会  
から功労表彰が贈呈されました。伊丹さんは  
伏原子ども会の会長や町子育連副会長として  
の活動が、竹の子子ども会は活発な地域活動  
が評価され11月28日に表彰されました。



● 福岡県老人クラブ連合会会長表彰

太田淳さん・原田秀秋さん  
3支所老人クラブ会長・赤池町老人クラブ  
連合会会計を務める太田淳さん（上里）と12  
年間の長きにわたり9支所老人クラブ会長を  
務めている原田秀秋さん（東組）の功績に対し、  
お二人に福岡県老人クラブ連合会会长表彰が  
贈られました。11月30日に北九州市戸畠区  
で表彰を受けられました。



● (財)日本交通安全協会交通栄誉章

坂元重正さん  
田川交通安全協会赤池支部長として活動する坂元重正さん（板取）が（財）日本交通安全協会から交通栄誉章緑十字銅章が贈られました。警察署や行政と連携し、交通事故の撲滅や町内イベントの運営に関わるなど、長年にわたる交通行政への幅広い活動が評価されたものです。11月17日に受章されました。



表彰されたみなさん  
おめでとうござります  
そしてこれからも  
ますますのご活躍を――

人権を語る夕べ「人生の慶びは出会いです・パートⅡ」大分県宇目町観光大使・矢野大和さん

が、オレオレ詐欺にだまされそうになつたこと」、「父ちゃんが死ぬ前に「オレの歳になつたら、お前はハゲるぞ」と言つたこと」などなど、楽しい話で大いに笑い、涙を誘う場面でグツとくる。そして、「人権ってこんな事なのではないでしょうか」と、エピソードの最後で私たちに問題を投げかける⋮ そんな緩急自在の講演なのです。

「互いに認め合うことで、社会が、そして人権が成り立つていて」というメッセージ。人と人との出会い、つながり、絆、それらを大切にすることで「人権」が見えてくるという貴重な講演でした。

「あなたがいないと困る」「ありがとう」  
そのひと言で元気になるものだし、また、  
ひと言で自殺してしまうもの。人を必要  
とし、人から必要とされるよろこびにつ  
いて理解を深めました。

矢野大和さんの講演は実話にもとづく  
たくさんエピソードが中心。「母ちゃん

「人生の慶びは出会いです・バートニア」  
その演題どおり、あの講師が帰つてきました。大分県宇目町観光大使・矢野大和さん。昨年に引き続き、たくさんの笑い声が会場に響きました。12月9日に同和対策中央研修所で「人権を語る夕べ」が行われ、150人が参加。矢野さんの人

人を必要とし、人に必要とされるよろこび。

面白く

真剣に…



人権旬間に理解を深めようと企画された人権講話

両手両足のない中村久子さんを例にあげ「天にツバをはけば、必ず自分に返つてくる。人を大切にしなければ、自分も大切にされない」という内容の深い講話でした。

13支所をはじめ、広く町内から参加したみなさんは「人権教

12月6日に13支所公民館主催による「人権講話」が9区公民館で行われました。二の瀧寺住職の桐生公俊さん（篠栗町）を講師に迎えた「親心・子心」といふ題目の講話で、3回目を

十三支所公民館主催  
人種講話「親心・子心」

↓教え子を前に、昔と変わらず熱心に指導する上村常夫前館長



### 赤池誠心館創立 30周年 懐かしい顔ぶれと竹刀でいさつ

今年で創立 30 周年を迎えた剣道部「赤池誠心館」が 11月 20 日に町民会館で「同窓練習会」を行いました。町内外から 30 人が参加。初代館長の上村常夫さんは「みんなの竹刀の音を聞き、昔の熱い気持ちがよみがえりました」と語ってくれました。練習後の懇親会では、久しぶりの再会に、会場中が懐かしい雰囲気に包まれました。

↓入賞した野島和久さん（中央）と野島塾青年部のメンバー



### 第7回九州空手道大会 力みせた10年ぶりの大舞台

11月 28 日に「第 7 回九州空手道大会」が直方市で開催されました。500 人で行われたこの大会に、実戦空手古武道勵士館野島塾塾長の野島和久さんが出場。無差別級フルコンタクト組手の部で堂々の 3 位に。「10 年ぶりの出場で緊張した。まわりは若い人ばかりだったが入賞できて本当に嬉しいです」と喜びを語ってくれました。

↓日韓若手作家交流展

### 一味違った美味しい文化交流

11月 25 日から 4 日間、上野焼青年部「巴会」と韓国若手作家共催による「日韓若手作家交流展」が開催されました。毎年交代で日本と韓国を会場に開催され、今年で 5 回目。11月 27 日には町民会館で韓国若手作家たちによる料理教室も開かれ、キムチやブルコギ、チゲ作りに挑戦。共同作業をとおして互いの文化交流を深めました。



↑町民会館調理室でのキムチ作り、香辛料の香りが食欲をそそります

高尾公民館パソコン教室

### 慣れない操作で画面とにらめっこ

12月 19 日に 16・17 支所子ども会と同地区公民館の主催による「パソコン教室」が高尾公民館で開かれました。譲り受けた中古のパソコンを活用し、杉の木子ども会会長・篠倉佳三さんの指導を受け、子どもたちはとまどいながらも夢中で操作していました。終了後にはクリスマス会が開かれ、参加者は楽しい一日を過ごしました。



↑みんなで食い入るように画面を見つめていました

↓月に照らされ、惜しまれながらも希望の光を放つ電飾のメタセコイア



### 新生の灯 惜しまれる希望の光

町立病院前にそびえる高さ 20 メートルのメタセコイア（和名：アケボノスギ）が今年も約 5 千個の電飾で彩られました。このイルミネーションは、町が再建団体の指定を受けた翌年の 1993 年から「再生の灯」として、秋本克之さんが会長を務める町民有志のボランティアグループ「赤池町を明るくする会」が企画。財政再建を完了した 2001 年から「新生の灯」に改称し、以降毎年、星形の電飾を 1 つづつ増やしていました。

町の風物詩として長い間親しまれ、活性化のシンボルとして 12 年間人々を励ました輝きも、資金難や町立病院閉鎖の影響から、今期限りで断念せざるを得ない局面に直面しています。惜しまれる声もあるなか、月光の下できらめくメタセコイア。最後の灯になるかもしれない輝きは、どこかはかなく、そして美しく、私たちのまぶたに刻まれています。

### ボールの行方は優勝の行方

11月 28 日に町民グラウンドで「町民グラウンドゴルフ大会」が開催されました。今年で 4 回目となるこの大会に、町内から 21 チーム・150 人が参加。合計 16 ホールで得点とチームワークを競いました。晴天にも恵まれ、参加者たちは互いにアドバイスを送ったり、和やかな雰囲気のなか競技を楽しみました。結果は次のとおりです。[優勝] 5 区 [準優勝] 生力 [3 位] 赤池 NT。

↓狙いを定めてナイスショット！すがすがしい気分でプレーしました







# Happy Birthday

1月生まれ★お誕生日おめでとう！

誕生日を迎える3歳までの子を掲載します。先着順3人まで、ご予約はお早めに！



たか ぱやし ひ か り  
高林 陽花里 ちゃん

1歳 女の子（徳市団地）  
H16年1月16日生まれ

「ひかりの幸せを  
願っています」

（パパとママから）

おお い か い り  
大井 海吏 くん

1歳 男の子（高尾）  
H16年1月9日生まれ

「いつまでも  
その笑顔を  
忘れないでね」

（パパから）



おお い に おん  
大井 嶺音 くん

3歳 男の子（高尾）  
H14年1月18日生まれ

「健康で  
たくましい  
男の子に育ってね」

（おじいちゃんから）

平成16年11月末現在( )内は前月比	
<b>人の動き</b>	
人口	10,069 (+3)
男性	4,710 (+2)
女性	5,359 (+1)
世帯	4,041 (+12)
転入52 転出45 出生7 死亡13	

•あけましておめでとうございます。皆様にとって、この町にとって幸多い年であることを心から願っています。（長野）  
新年あけましておめでとうございます。今年も取材でお会いすると思いますが、よろしくお願ひいたします。（白川）

1/15～12/15

## 保健の掲示板

実施日	行事名	対象者	場所・受付時間
1月18日 (火)	笑べっこくらぶ オープンルーム	就園前の乳幼児と保護者 絵本の読み聞かせ	赤池町民会館 10:30～11:30
1月20日 (木)	親子であそぼ 教室	就園前の乳幼児と 保護者	中央研修所 9:45～10:00
1月21日 (金)	乳児健診	生後4・7ヶ月 (個人通知します)	赤池町民会館 13:15～14:15
1月24日 (月)	住民健康相談	健康や介護で相談のある人 動脈硬化測定（要予約）	役場会議室 9:00～12:00
1月24日 (月)	母子手帳交付 制度説明会	妊婦さん (パパもどうぞ)	役場会議室 13:00～13:30
1月28日 (金)	初期・中期 離乳食教室	離乳食をつくっている保護者 調理実習・試食（要予約）	赤池町民会館 13:00～13:20
2月3日 (木)	親子であそぼ 教室	就園前の乳幼児と 保護者	中央研修所 9:45～10:00
2月14日 (月)	住民健康相談	健康や介護で相談のある人 動脈硬化測定（要予約）	役場会議室 9:00～12:00
2月15日 (火)	笑べっこくらぶ オープンルーム	就園前の乳幼児と保護者 絵本の読み聞かせ	赤池町民会館 10:30～11:30

### BCG予防接種の確認を！

先月号でBCG予防接種が、平成17年4月の結核予防法改正により「生後48ヶ月まで」であった接種対象年齢が「生後6ヶ月に達するまで」と大幅に短縮されることをお知らせしました。4月時点で「生後6ヶ月以上」のお子さんは母子手帳を確認してください。まだ接種が済んでないお子さんは、今回受けられることをお勧めします。

◆場所／赤池町民会館 ◆受付／13時30分～14時20分  
【ツベルクリン反応】平成17年1月12日㈫

対象：生後3～48ヶ月

※H13.1/16～H16.10/15生まれのうちBCG未接種者

【BCG】平成17年1月14日㈮

対象：ツベルクリン反応陰性者

### かぜの対処法「食」

かぜは自然治癒力で治すしかなく、市販薬や受診は症状を緩和するだけで、根本的な治療ができるわけではありません。少しでも違和感を感じたら、即対処！を心がけましょう。

「免疫力アップ」の食事ポイント！～①温かい汁物などで体を内側から温めて発汗作用を促し体温調節を。②喉や鼻の粘膜補強にしっかりと水分補給。野菜や果物のジュースや牛乳なら同時に栄養も補える。ビタミンA・Cも十分に。③脂肪分の少ない肉や魚、卵、牛乳などでたんぱく質をとつてウイルスと戦う力を。消化酵素を含む大根おろしを合わせると消化のお手伝い。④食べられない時は少量でも高エネルギーで食べやすいプリンでもOK！フルーツゼリーならビタミン補給、バナナミルクならたんぱく質も摂れる。⑤食物繊維をとつて腸内環境を整え、かぜに負けない体づくりを。

■ 本人の2人に1人はストレスを感じているという現代。仕事、育児、介護など個人が感じるストレスは社会問題と大きく関係しています。長い間ストレスをため込んでしまうと、うつ病、神経症などいわゆるストレス病を引き起こす確率が高くなります。さらに、こころだけでなく、生活習慣病を招くなどからだにも悪影響を及ぼすのです。

ストレスをうまく乗り切るためには、充分な休養が第一。休養とは、心身の疲労を回復するために「休む」こと、明日への英気を「養う」こと。短時間でも趣味やスポーツに熱中したり、音楽や読書でリラックスしたり、仕事や家事を忘れ、非日常の時間を作ることが大切です。しかし、その時間ががない！という人、食事や睡眠と同じように生活に欠かせない「入浴」をリラックス手段にしてみませんか？

日本人はお風呂が大好きな民族。ぬるめのお風呂にゆっくり入る…たったこれだけのことなのに、こことからだを健康にしてくれます。暑い日はシャワーでさせていた人も、浴槽にお湯をはって入浴しましょう。

#### お湯の温度と効用

ちょうどいい湯かげんってどれくらいでしょう？好みは人それぞれですが、日本人が好む温度は38～42度といわれています。血行が良くなり、体の芯までポッカポカに。

- 42度以上…かなりの高温浴。目覚めたときや眠気を覚ました時に浴びると、交感神経が緊張し精神が高まる。

- 38～42度…最も適当な温度。

- 37～38度…ちょっとぬるめ。気分が落ち着き、脈拍数が減り、血圧も低下する。

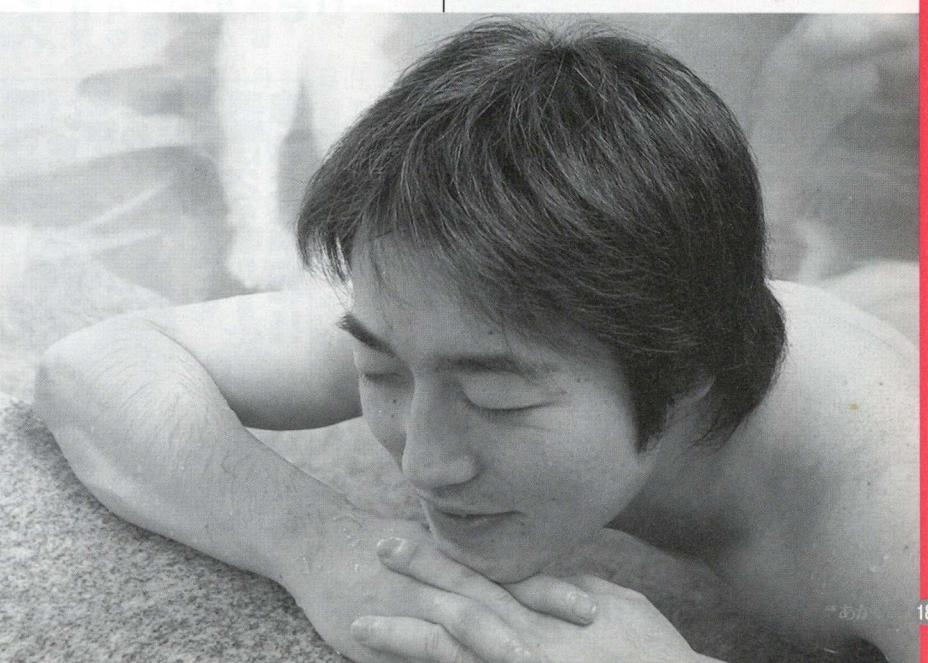
- 34～37度…血圧や心拍に変化がなく、カロリーも消費しない。

- 24～34度…体の熱産生が始まり、カロリーが消費される温度。プールと同じくらい。

- 24度以下…冷たく感じる。

#### 中温反復浴であたたまろう！

中温反復浴とは、ぬるめのお湯に繰り返し入る入浴法で、血行を良くし新陳代謝を高める効果があり、また、湯冷めしにくくなっています。みなさんご存知の温泉マーク、ちょっと思い浮かべてみて。温泉マークの波3本は、真



1日の疲れ、その日のうちに。  
入浴でリラックス／保健師だより

ん中が長く、左右が短くなっています。これは温泉につかっている長さを表しているとか。最初は軽く、次はちょっと長め、最後はさっと3回に分けて入るといいそうです。

#### ふつうのお風呂に飽きたら…

いつも同じお風呂、入浴剤ではちょっとつまらないという人、こんなお風呂を楽しんでみてはいかが？普段と違ってリラックス気分になれるかもしれません。

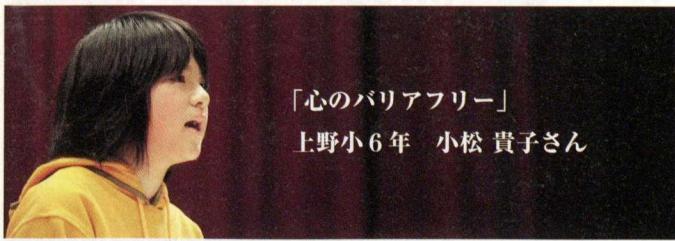
ゆず湯：冬至。ゆずを3～4個ガーゼ袋に入れてお湯につけるか、そのまま入れる。

松葉湯：あまり馴染みはないかもしれません、新年の初湯に。松ヤニをよく洗って落とし、布袋に入れるかそのまま浮かべる。

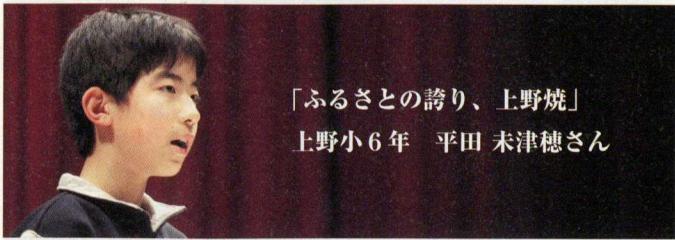
菖蒲湯：端午の節句。菖蒲には身にまとわりつく悪霊を除き、邪気を払って健康なからだを維持する効果がある。

桃の葉湯：土用の丑の日に。桃の生葉を30～40枚布袋に詰め、鍋に入れ水から15～20分煮出す。煮汁を袋と一緒に浴槽へ。あせもや湿疹を和らげる。

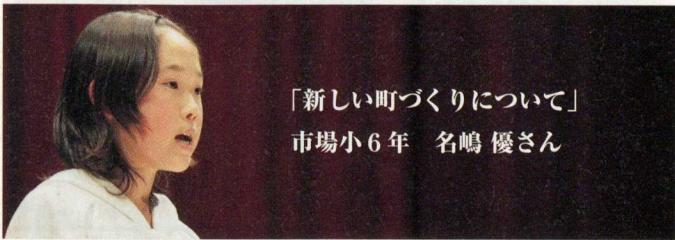
入浴はからだを洗浄するだけではありません。毎日の「休養」の一つとして考え直してみましょう。また、自分のストレスの状態を把握し、ごろ寝休みで終わらないよう、自分がリラックスして楽しめるテーマを見つけましょう。



「心のバリアフリー」  
上野小6年 小松 貴子さん



「ふるさとの誇り、上野焼」  
上野小6年 平田 未津穂さん



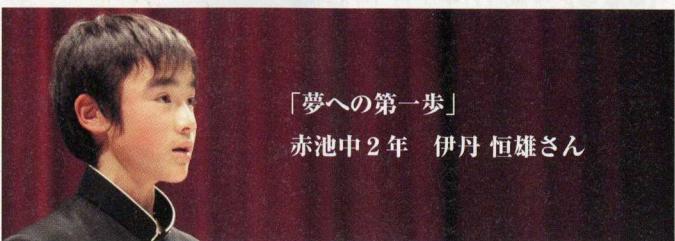
「新しい町づくりについて」  
市場小6年 名嶋 優さん



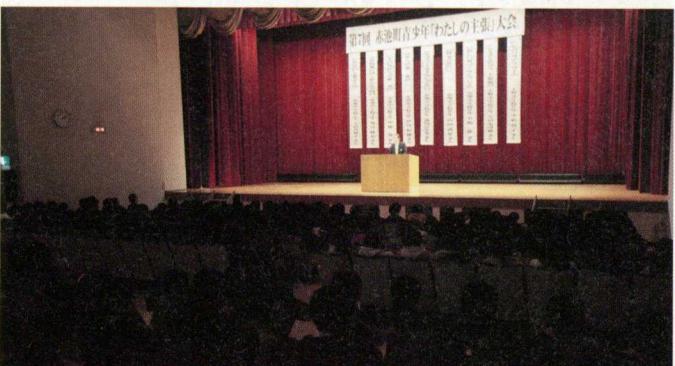
「将来の夢」  
市場小6年 高田 義征さん



「命はペットボトルじゃない」  
市場小6年 浦田 ひかるさん



「夢への第一歩」  
赤池中2年 伊丹 恒雄さん

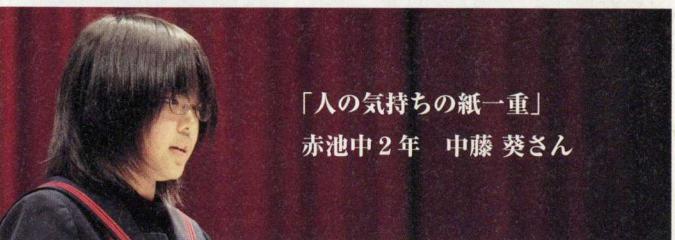


### 心に響いた。感動した。9人の主張 ——

12月18日に赤池町青少年育成「わたしの主張」大会(青少年育成町民会議主催)が中央研修所で開かれました。

9人の小中学生が日常生活での体験や感じたことを堂々と発表。300人の参加者は、純粋でありのままの自分の主張を真剣な表情で静かに受けとめていました。

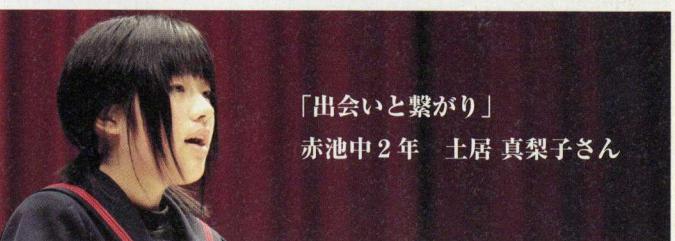
2月5日に田川市で行われる郡大会では、浦田ひかるさんが町を代表して発表します。ぜひ応援してください。



「人の気持ちの紙一重」  
赤池中2年 中藤 葵さん



「食糧難の国と私たちの国」  
赤池中2年 亀谷 綾花さん



「出会いと繋がり」  
赤池中2年 土居 真梨子さん

「命はペットボトルじゃない」について語った高田義征さん。どちらも本紙11頁に掲載している。人が上野焼に関する発表をした。平田未津穂さんと高田義征さんは、大人たちの心に確かに響きを伝えていた▼「主張大会」では2人が上野焼に関する発表をした。高田湖山さんのお孫さんである。2人は祖父である湖山さんの作陶に対する姿勢、血のにじむような努力を自分の目で見てきた。そして、その末に出来上がるやきものの尊さも知っていた。2人は共通する陶芸家という夢をステージで語った。「偉大な祖父に近づきたい。そして超えたい!」将来の上野焼を担う息吹に、会場は惜しみない拍手を送った▼大会の最後を飾った土居真梨子さん。「出会いと繋がり」について語った。「私たちは互いに支え、支えられて生きている。そして、どこかでつながっている。過去があつて今がある。そしてこの今が未来へつながっていく」と…。人は支えることを意識しても支えられていることに気付かない。この町もやがて今の子どもたちに支えられていくだろう。大志ある担い手がいる限り、この町は輝きを失わない。(長野)

**旋律**

▼小中学生の文章表現に驚いた。リズムがいい。展開がいい。ストーリー性がある。自分の気持ちをまっすぐに伝える力がある。あふれんばかりの純粋な言葉のシャワーに打たれた感じがした。